

伊那新校の校名候補に込められた想い

長野県教育委員会事務局

高校教育課 高校再編推進室

令和 10 年 4 月に開校予定の伊那新校の校名募集にたくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございました。応募総数 909 件、校名案 468 件のご応募をいただきました。ご応募いただいた校名案について一次選考を行い、次の 6 候補が選ばれました。

【校名候補】

(五十音順)

ながのけん い な こうとうがっこう 長野県伊那高等学校	両校が歩んできた百余年の歴史を「伊那」という言葉に集約し、等しく継承する。上伊那地域の教育・文化の中心地としての責任を担い、地域に根ざした教育を推進。シンプルで力強い校名を掲げることで、全国・世界へ羽ばたく生徒たちのアイデンティティの拠り所とする。
ながのけん い な えいりょうこうとうがっこう 長野県伊那瑛 陵 高等学校	「瑛」は澄みきった光、「陵」は丘を意味する。伝統ある両校の精神を継承しつつ、生徒たちが澄み切った知性を磨き、アルプスの山脈のように気高く、自らの限界を超えて（ ^{しの} 陵いで）未来を切り拓いていくことへの願いを込めている。
ながのけん い な がくほうこうとうがっこう 長野県伊那学峰高等学校	2つのアルプスに抱かれた「伊那」の地を舞台に、伝統を礎として新時代を切り拓く意志を「学峰」の名に込めた。地域に根ざしながらも、その学びが ^{みな} 嶺を越え、未知の未来へ高く飛翔する象徴となることを目指す。この地から世界へ、輝く未来を創造する力を育む決意の表明。
ながのけん い な がくりょうこうとうがっこう 長野県伊那学 陵 高等学校	両校が築いた「知の伝統」を継承・結集し、上伊那地域の教育の総本山として新たな歴史を刻む決意を込めた。「伊那」を冠することで、地域への深い愛着と、アルプスの山々に抱かれた学び舎（陵）から次代を担う志高い人材を輩出するという不変の使命を象徴した。
ながのけん い な そうほうこうとうがっこう 長野県伊那双峰高等学校	両校が築いた輝かしい伝統と郷土への誇りを継承し、更なる高みを目指す決意を込めた。東西のアルプスを仰ぐ「伊那」の地で、2つの歴史が「双峰」として結実し、互いに切磋琢磨しながら未来を拓く人材を育みたい。地域に愛され続ける学び舎の新たな象徴として命名。
ながのけん か み い な がくりょうこうとうがっこう 長野県上伊那学 陵 高等学校	両校の伝統を継承し、上伊那全域の教育の象徴となるべく「上伊那」を冠した。2つのアルプスを望むこの地を、郷土の誇りと知が集まる「学陵（まなびの丘）」と定義。地域全体で若者を育み、上伊那から世界へ羽ばたく高い志と、未来を切り拓く力を養成する決意を込めた。

応募いただいた校名案の一覧は、県教育委員会ホームページに掲載しています。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/koko/saihen/konwakai/suzaka.html>